

発行所 野郡公民館 福井県和泉村 印刷所 松浦印刷所

和泉村議会第29回定例会開かる 議長に山本清孝氏

副議長に尾崎彦次郎氏を再選

和泉村議会第二十九回定例会は二日間の会期を以て、九月二十五日開かれ、開会とともに文教厚生委員長より朝日中学校々舎改築についての請願書審査結果報告及び産業経済委員長から村有林に関する審査報告が行われ、続いて議長副議長の辞職許可と選挙、および各常任委員の所属変更を別掲のように決め、続いて次のとおり十議案を原案どおり可決確定した。

- ① 農業委員会委員の推せんについて。(議案第四十二号)
これは議案が法第十二条第一項第二号の規定に基づき推せんするものであります。(委員氏名別掲)
- ② 和泉村国民健康保険条例の一部改正について。(議案第四十二号)
第五條を削除
第七條の中「千五百円」を「二千円」に改める。(助産手当)
- ③ 和泉村手数料条例の一部改正について。(議案第四十三号)
直接関係がないので省略します
- ④ 福井県町村職員退職手当組合を組織する町村の数の減少及び同組合の規約の変更について。(議案第四十四号)
- ⑤ 福井県町村職員恩給合資産管理組合を組織する町村の数の減少及び同組合の規約の変更について。(議案第四十五号)
両議案とも住民に直接関係のないものですから省略します。
- ⑥ 昭和三十八年度和泉村歳入歳出追加更正予算案(議案第四十六号)
歳入増435,000円、歳出増1,230,000円、歳差増892,700円、土木費1,325,000円、教育費4,215,500円、社会及労働福祉費140,000円、保健衛生費63,000円、産業経済費17,350,200円、財産費163,000円、雑費12,000円、雑収5,565,000円、予備費13,000円の合計10,789,400円を可決
- ⑦ 昭和三十八年度和泉村特別会計簡易水道歳入歳出追加更正予算案(議案第四十七号)
後野部落の簡易水道に關する予算二一九万円を可決
- ⑧ 昭和三十八年度和泉村特別会計国民健康保険歳入歳出追加更正予算案(議案第四十八号)
二、九一四万円を可決
- ⑨ 昭和三十八年度和泉村特別会計電源開発対策協議会歳入歳出追加更正予算案(議案第五十号)

待合室談議

村民の声

先日、目の病気で〇〇市へ療養に出かけた患者が何と三十名以上も詰めかけて居る。その約八割が六十才以上の老人でその内の七割が農山村の人だったのは驚いた。医師の話は、家を聞いて居ると労働過重が原因だとの事。農山村経営改善を考へて週休或は月一、二回の公休を取るべき経済力をあたえる事を為政者は考へてもらいたいと思ふ。患者のさげびである。老人達

公民館強調目標

天高く馬肥ゆるの秋です。食欲の秋に甘んじて暴飲暴食は慎みましよう。食中毒になりやすい季節、食べものには気をつけましよう。

農業講座

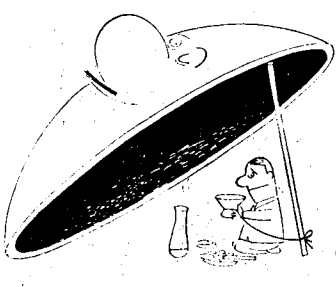
今年のイモチ病発生は冬を越して明年のイモチ病発生のもととなる恐れが多く、特に伝染経路として稲ワラに潜在している病菌が、再び活動を始める事が、いつの年でも多いので、明年の発生を未然に防ぐために、稲ワラ中の病菌完全死滅に努めていただきたいと思ふ。

各常任委員も決まる

- 和泉村議会
議長 山本 清孝
副議長 尾崎彦次郎
総務常任委員会
委員長 池田庄次郎
委員 三島 良助
石神 東洋
宇野 一雄
権守 光雄
尾崎彦次郎
文教厚生常任委員会
委員長 北 正一
委員 池田 澄剛
若山 源三
加藤 良雄
藤沢 平一
産業経済委員会
委員長 周戸 耕作
委員 宮本 慶治
中山 重治
新井 一雄

稲ワラの処理

稲ワラ又は干草 一〇〇貫水 三石
石灰窒素又は硫酸二・五貫(米糠ならば一〇貫、鶏糞ならば一六貫)
原料ワラを水で充分しめらるす。株を上にして立て水をかけ



窓口支払いは三割に

国民健康保険法が改正されました。世帯主が被保険者である場合は世帯主一人、世帯主が被保険者でない世帯(疑制世帯)の場合は被保険者のうち、政令で定められた順位により、一人(準世帯主)だけは療養給付を受けるときの一部負担金の割合が今まで五割であったのが十月一日から三割に引き下げられます。

各種団体だより

- 九月一日 村休協主催村内四地区対抗ソフトボール大会
- 九月四日 上地区農協水没座談会
- 九月四日 公明選挙助言者講習会、吉崎ヘルセンセンター
- 九月七日 上地区水稲損害評価委員会、県会電源開発特別委員会、大谷保育所開設
- 九月八日 老人クラブ総会、朝日小
- 九月十三日 嘱託員会
- 九月十四日 下地区下半原地区敬老会、下地区水稲損害評価大会、中竜グラウンド
- 九月十六日 水没地域代表巡回
- 九月十六日 防犯映画各部落巡回
- 九月十八日 東部中運動会
- 九月十九日 大谷婦人会大和校庭整備奉仕



中屋卯三郎氏から ユニホームを寄贈

このほど長野部落出身、現在岐阜市でスポーツ用品店経営の中屋卯三郎氏(五十才)は野球ユニホームを和泉村役場へ十五着、出身校で朝日中学校へ二十八着を寄贈された。役場では早速ソフトボールチームが着用、高志地区役場職員ソフトボール大会に出場しました。紙上を以て厚くお礼申しあげます。

農業委員決まる

- 九月二十三日選挙を行うことになった和泉村農業委員会委員選挙は、十九日立候補最終日まで(定員十名)の立候補があつたので、従つて選挙を待たず無投票当選となり、二十四日の選挙会において次の十名の方々が新しく農業委員会委員に決定しました。
- 荷暮 島門喜左エ門 60 新
 - 米 依 山本 準人 60 元
 - 野 尻 高井 輝計 61 現
 - 下 原 原 森田 米造 61 新
 - 箱ヶ瀬 美濃島兼治 62 新
 - 三 面 須甲繁太郎 52 現
 - 朝 日 吉川 基 43 現
 - 下 山 村上繁太郎 63 現
 - 後 野 三島 利夫 37 現
 - 上 大 納 登 賢治 39 現
- 右の他に
和泉村議会推せん農業委員
貝 皿 吹屋 与市 44 新
板 倉 森尾 正 61 新
東 市 布 田中 光夫 30 現
大 谷 若山 進 54 現
伊 勢 島田 一幸 36 現
農業協同組合推せん農業委員
長 野 古世市三郎 61 新



ます。堆肥に積込み六十度以上の高温になると、完全に死滅します。堆肥は中央部は六〇度以上になり、積込みによって、中央を外部へ、外部を中央にする事が大切です。

① 被害の多かつたワラ
葉イモチの発生が多く、其の上

② 堆肥の製法
葉イモチの発生が多く、其の上

水稲損害評価

村農業共済では九月六日評価委員会をひらき、本年度の水稲損害評価に關する打合せを行った。本年度は被害田が非常に多いため本部の一筆評価は困難であるため、部落の被害田の中から三、五筆の抜取り評価を行い、部落評価

行つた。抜取り、部落評価は現在集計中であるが被害面積、程度とも戦後最高で、村内産米の減収は相当なものになると見込まれる。評価結果では

- 実地にまだ遅い品種が多すぎる
- 品種に平坦地のものを作つていない
- 葉いもちの防除を徹底していないものが穂首いもちにおかされてる。
- 山田、奥地田の施肥が基準通りで多すぎる

以上のことを来年度の稲作に注意してもらつて徹底をはかることになつた。

秋空にはち切れる元氣！

各校内運動会

シーズンを迎えて、村内の各校では夫々の企画によつて校内運動会の恒例行事をす、東部中学の十八日を皮切りに二十日の大和、二十一日大納小、二十四日朝日小、幼と各校好日を以て、趣向をこらした楽しい一日を親子ともども味わい過ぎた。

- 一、仮装行列 西南の役
- 二、組立体操

青年団ソフトボール大会

九月十五日和泉村青年対抗ソフトボール大会が中竜グラウンドで開かれた。参加チームは半原、白越、大立、前後朝日、大納、中落の六チーム、試合はトーナメントにより半原、大納、白越戦、大立、前後朝日、中竜戦から始まり、次の様な成績で終了した。

- 優勝 中竜チーム
- 二位 半原チーム
- 三位 大納チーム



第一回村民ソフトボール大会

初秋の涼風渡る九月一日、村内ソフトボール大会が、村体育協会の主催で朝日小学校に於いて行われ、この日の参加チームは、日進校下チーム、大納校下チーム、朝日校下チーム、大納校下チームの外に、村議会議員チーム、役員職員チームなどの特別出場もあり各チームの選手および応援団など総勢二百名あまり、秋晴のもと、熱戦がくりひろげられ、盛んな声援が飛び、スポーツの秋にふさわしい一日がくりひろげられました。

- 一位 朝日校下チーム
- 二位 日進校下チーム
- 三位 大納校下チーム
- 四位 大納校下チーム

職員対抗ソフトボール大会

去る九月二日、第三回目を迎えた高志管内の町村職員対抗ソフト



ボール大会が、足羽町東郷小学校グラウンドで行われた。折悪しく天候に恵まれず、決勝は雨のため次回に持ち越されたが、各チームの対戦成績は左記の通りで、本村チームは残念ながら初戦に敗れ去った。昨年度までは、本村はユニホームも赤、青、黄、と色とりどりのチンドン屋さながらで出場したが、本年は、岐阜市在住の中屋三郎さんから寄贈していただいた立派なユニホームを着用出来たことを、選手始め役員一同御厚意に深く感謝しています。

○高志事務所 松岡町 ●

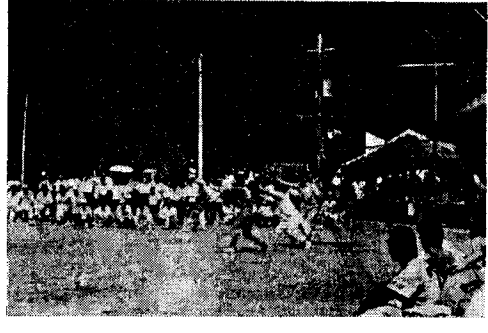
法の日、法の週間

十月一日は法の日、それから一週間は法の週間です。吾が国は民主主義による法治国家です。此の機会に法の精神を再認識することを。最近「自由」についていろいろ言われています。法では個人の自由はすべて他の個人の同様な自由と共に共存することで欲望を無制限に振りまわすことではありません。自然な自由ではなく

- 永平寺町 上志比村 ●
- 美山村 森田町 ●
- 足羽町 和泉村 ●
- 永平寺町 高志事務所 ●
- 美山村 足羽町 ●
- 美山村 永平寺町 ●

寄生虫の予防について

私達の生活の中に一番関係の深い寄生虫の駆除及び予防について述べて頂きたいと思つています。昔から農村、漁村に多い病気の



この村に俸職させて頂きたい心を持つた事は、この村に於ける子供達の疾病の有無と寄生虫の保有率の状況でした。疾病に於いては眼疾、虫歯の保有者が多く、寄生虫に於いては五月に和泉小中一斉に検便検査を寄生虫専門検査所で行って頂き、その結果学校の保有統計率で見ますと次の通りです。

小学校の部

- ①日進小学校 二六、七%
- ②大和小学校 二七、五%
- ③朝日小学校 二六、六%
- ④下山小学校 六三、八%
- ⑤大納小学校 二〇、四%

中学校の部

- ①東部中学校 二六、一%
- ②朝日中学校 二二、九%
- ③大納中学校 二〇、九%

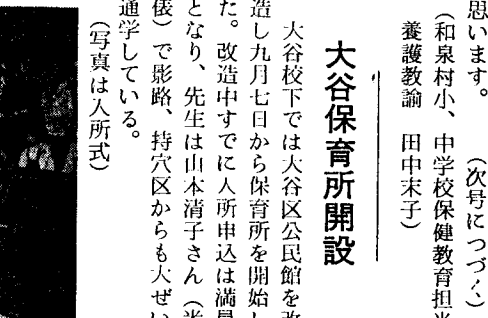
以上の通り、下山の六三、八％は特に目立ち、全国的に見ても六〇％の保有率を見るのは少ないので、そこで下山地区の方々は早く理解して下さい、予防法の対策

農協通信

電源開発により組合員の大部分が水没する上穴馬農協及び一部水没する下穴馬農協では、それらの対策をたて農連、農林中金とタイアップ、組合員の生活より護移住の場合の指導資料、信用部対策等の水没対策相談所を開設、対策委員長に泉中央会長の中川平太夫氏を決定した。

上穴馬農協では九月四日、六日にわたり各連、農政課等六名の座談会を編成し各部落座談会を行った。

今後は水没者には各部門の専門相談員を駐在させて要望に就ると共に、残存組合員の問題についても各関係と交渉する計画である



大谷保育所開設
大谷校下では大谷区公民館を改造し九月七日から保育所を開始した。改造中すでに入所申込は満員となり、先生は山本清子さん(米俵)で、片野、持穴区からも大ぜい通学している。(写真は入所式)

選挙豆辞典

選挙人名簿とは、選挙権のある者をあらかじめ登録しておいて、投票のときこれと照合することに、投票の公正をはかるためにつくられる簿冊であります。

選挙権のある者でも名簿についでいない者は投票することができないので、有権者としては、次にのべる名簿の縦覧の際などに脱漏されていないようによく注意することが大切であります。

基本選挙人名簿は、毎年一回選挙管理委員会が調整します。調整時期は毎年九月十五日に登記資格のある者について調査して十月三十一日までにつくります。

赤ちゃんおめでとう
大野保健所と大野市共催の昭和

国会解散と公明選挙

時の話題

政局は年内解散に向かつて、あわたくし動きたつたようである。来春解散が政治家の一部から放出されたのが夏の頃であったのに、いつの間にか年内解散になったのである。もともとこの解散ムードは議員を中心に盛り上がったらしい。中央から地方に散つた立候

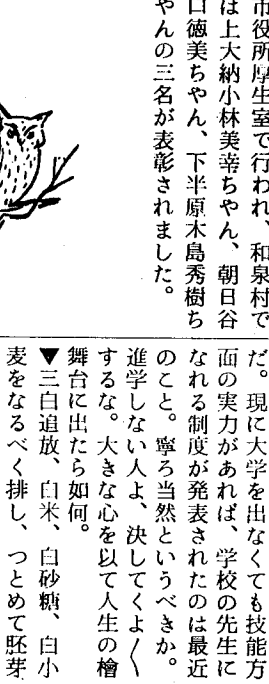
補予定者とか言う方が動き出し、はやくも選挙戦にはいつた感がある。選挙運動が活発となつて、事前運動花さかり、といま

く予想される国会選挙とをにらみ合せて、九月四、五日嶺北会場吉崎センターで各市町村より約百八十名の公明選挙推進者の宿泊講習会を開いた。国泉福井大学教授等が助言指導者となり話合

れば選挙違反は他の犯罪とは異なる犯罪であると思つている者があつた。公明選挙推進のいかにむずかしいことであるか知らされた。村の民の皆さんにどう話しかけるか、どのような場所がよいか、どのような資料を利用したらかよいか、なかなか困難な問題である。ともす



赤ちゃんおめでとう
大野保健所と大野市共催の昭和



三十八年度赤ちゃんコンテスト優良児の表彰式が九月二十三日大野市役所厚生室で行われ、和泉村からは大納小林美幸ちゃん、朝日谷口徳美ちゃん、下半原木島秀樹ちゃんの名が表彰されました。

かじか

求人難は年毎に深刻になって来た。県内外の各事業者から米谷の中卒生を目当てに先を争って和泉村へ家用車をのり入れてくる。和泉村の少年は誠実でよいとのこと。条件も一年とよくなり、一万円以上出すというのが多い。中卒生に一万円出すなら大学卒はどうなるんだらう。余りに高校や大学に進むのが多くなつたので、中卒生の進学しないものが貴重品扱いになり初任給に於て学歴の差格が始まり生ずるのであるが、現実には全く困った現象が生じている。誰もが家庭教師でもつて、都会地では家庭教師の競争となつて費用をかけて親達の競争となつてくる子供はさ程進化したからなく、又就職することが何かにあつかひがたい。学問の進歩も進むが、どうしてか切迫した顔の子供のいることも事実である。そんな子は親の面子にこだわらず思い切つてこうした求人難を利用して就職に早く就かせること、或る意味で機先を制したことであり将来の基礎づくりだ立つのにはなからうか。現に機械工、大工その他技術方面でも中堅の人物が著しく不足しており、中には、「自分一人での職は終るか」といって若手の来ないのを悲しんでいる技術職もある。お前が学で身を立てるなら、おれは実地の技術で人生の出発をするという人もなければ、世の中は大学卒だけではやつていけないのである。又世の中は不思議なもので、そうした立派な決意のある人が、堂々と大学卒を使つて会社を経営している人物もたくさんあるのである。学歴を重んずる日本でも、そろそろ再考を要する時代になつたようだ。現に大学を出なくても技能方面の実力があれば、学校の先生になれる制度が発表されたのは最近のこと。寧ろ当然といふべきか、進まない人よ、決してよくくするな。大きな心を以て人生の檜舞台に出たら如何。

米、胚芽小麦、黒砂糖をつかうのは長寿健康によいということを最後に提唱しておく。